

デジタル・アーキテクチャと法に係る共同調査研究

産業データ連携の現状 と法的展望に関する シンポジウム

デジタル・アーキテクチャの適切な構築・運用には、法学・政治学の観点からの検討が不可欠であると考えられます。

東京大学大学院法学政治学研究科と独立行政法人情報処理推進機構デジタルアーキテクチャ・デザインセンター（DADC）は、デジタル・アーキテクチャと法の相互作用について検討を深め、その検討成果をデジタル・アーキテクチャの設計・評価・改善に資するよう、共同研究を実施しております。

本シンポジウムでは、産業DXにおいて重要な役割を果たす「データ連携基盤」の実装に向けた現状の取組と法的課題を、経済産業省が策定した「データ連携基盤規約 Ver.1.0」（2024年4月）を素材にしつつ、多角的に検討します。

参加無料

2024.11.8（金）

10:00 - 12:30（開場：9:40）

東京大学大学院 情報学環・福武ホール地下2階 福武ラーニングシアター
オンライン配信あり

登壇予定：齊藤裕（情報処理推進機構理事長）・坂田晃祐（経済産業省商務情報政策局情報経済課法令専門官）・穴戸常寿（東京大学教授）・水津太郎（東京大学教授）
・藤原輝嘉（自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター代表理事）・松下外（西村あさひ法律事務所・外国法共同事業弁護士）・靱田高志（IPA-DADC特命担当部長）
・守谷学（経済産業省商務情報政策局情報経済課長）・山本隆司（東京大学大学院法学政治学研究科長）

お申込みは、QRコードもしくはURLからアクセスしてください。▶▶▶

<https://www.shojihomu.or.jp/page/20241108symposium>

